

■地区復興まちづくり計画（素案）内覧会等の報告

（1）内覧会の概況

- ・日 時：1月14日～17日
- ・場 所：荷竹自治会館
- ・来場者数：32名
- ・会場の様子：



（2）内覧会での意見等

■避難道路等について

1	栄通りから藤畑へ抜ける道路が欲しい。	(内覧会)
2	藤畑から新橋を通り、山側に抜ける避難道路を造るのはよいが、屋敷にはかけないでほしい。	(内覧会)
3	山側の避難道路に関して、現在の線形(瑞雲寺東の山)では城跡がかかっているがかけないほうが良いのではないかと。	(内覧会)
4	館山公園は南側からも登れるようにしてほしい。	(内覧会)
5	基本的に避難路(車移動が可能な場所)は2車線以上への拡幅をお願いしたい。また、歩行者用の避難路は階段タイプとスロープタイプを設ける。(車いすでもスムーズに上がれる様に)その際手すりの設置をし、傾斜角はなるべく緩やかにお願いしたい。	(内覧会)
6	三陸縦貫道について: ①津軽石インターチェンジの設置となっているが、サービスエリアが良いと思う。イメージとしては秋田自動車道にある錦秋湖(キンシュウコ)サービスエリアのようなイメージ設置すると良い。インターチェンジは駐車スペースが少なく、大人数の避難には適さない。サービスエリアとなれば、広い駐車場とトイレぐらいは確保が可能となるし、少量の食べ物、飲み物も確保可能かと思われるので、サービスエリアのほうが避難所としての利点が多い。(※サービスエリア出入口が一般道側にあり、誰でも容易にサービスエリア内には出入りができる構造となっている。) ②インターチェンジやサービスエリアの設置もその通りだが、本線へダイレクトでつなぐ「緊急車両出入口」のような道路を設けることも望ましいと思われる。(※インターチェンジやサービスエリアよりも必要用地が少ないので設置は1番楽かもしれない。)	(内覧会)

■新設の橋について

1	橋の新設整備の位置は、弘川口のほうが良いのではないかと。	(内覧会)
2	稲荷橋と水門の間に国道45号を立体交差する避難橋を設置する。法の脇の山に架橋することによ	

	り、馬越→津軽石小や金浜に避難できる。(理由:現在の稲荷橋は渡橋後、車両が渋滞すると予想される) (内覧会)
3	弘川方面での橋の新設か駒形橋拡幅(2車線以上の道路に)のどちらかはぜひ実現していただきたい。この他にも藤畑～豊間根の道路(射撃場前を通っている道路)の拡幅、整備も避難路の拡幅につながるので、検討願います。 (内覧会)

■避難場所について

1	恵比寿堂のある山(根井沢川とJRの間)も避難場所として整備してほしい。 (内覧会)
2	緊急時の対応として、ヘリポートの設置には大変賛成です。ぜひお願いしたい。その際の設置場所ですが山地等を切り開いて設置するのも良いと思いますが、何力所か避難ビル等が建設されるようですが、その屋上を活用するのもありかと思えます。 (内覧会)

■土地利用の方針について

1	公共施設は1カ所に集約するのではなく、分散しておくほうが良いのではないかと。三陸自動車道で公共施設集約地区の再検討が必要である。 (内覧会)
2	嵩上げ道路の背後地は大雨が降ると地下から水が湧き出る。ふ化場よりも高く地盤の嵩上げをお願いしたい。 (内覧会)
3	防潮堤や嵩上げ道路ができて、被災地には住みたくない。弘川に土地を持っているのでそちらへ移転したい。 (内覧会)
4	津波が来ないところ(高台でなくても良い)に移転したい。 (内覧会)
5	私は以前居住しておりました津軽石川右岸山側についての復興まちづくりの方針の素案を拝見させていただきました。二線堤兼用の道路の山側は居住ゾーンとの事ですが、結論から申しますと絶対反対です!!私の家族は大震災時、乗用していた軽自動車ごと波にのまれて回転し運良くふ化場手前の大木の枝にシャフトが刺さり、その大木の上に家族皆で登り、命ギリギリ助かったのです。大木に車がはまった事によりその事実は発生しましたが、そうならなければ多くの方々と同じように流され、汚水を大量に飲み、皆死んでいたはずで。実際その時一緒に流された数台の車に乗せられていた方々は亡くなってしまったとの事です。そのような事実が存在する以上、これからまた堤防を増やしたくらいでは大震災クラスの大災害時には、また同様のことが発生すると思えます。ですから浸水した地域全体を高台に移転させることが唯一の地域住民を全員救うことにつながると信じます!どうぞ私の心情をご理解ください。よろしく願い申し上げます。 (便り)

■公園について

1	子どもたちに配慮して、遊び場の整備や高台移の検討を進めてほしい。 (内覧会)
2	ただの遊び場としての公園ではなく、今回のような有事の際の避難場所にもなるように簡易トイレや非常用の水や缶詰等を備蓄していただきたい。 (内覧会)

■支援策について

1	被災者に対する住宅再建の手厚い支援が必要である。 (内覧会)
2	家族の人数によって、住宅建設等の支援策の強化を検討してほしい(人数が多いと家も大きくなり費用も必要となる)。 (内覧会)

3	被災地の買い取りや住宅建設への助成をしてほしい。	(内覧会)
---	--------------------------	-------

■文化の継承について

1	法の脇の獅子舞(神様の前で奉納)を残したい。支援は得られないであろうか。	(内覧会)
---	--------------------------------------	-------

■その他について

1	検討会も後一回を残すのみとなりました。十分な提言が出来たかどうか自信がありませんが、次回で検討会の提言が集約される訳です。それで検討会は解散するのでしょうか、提言しっぱなしと言うのもおかしいのではないのでしょうか。提言(復興案)がどのように実現するのか、検証が必要になると思われます。市の方では、何か考えているのでしょうか。もし、考えていないのであれば、勝手連的に有志で検証委員会とでも言うような組織を作ったらどうでしょう。	(検討メンバー)
2	防潮堤は湾奥(津軽石・赤前)から整備してほしい。	(内覧会)